
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第46週
(11月10日～11月16日)

- * 2008年10月19日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
 - * 今週は月報告(2008年10月)の疾患も掲載しています。

平成20(2008)年11月20日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年46週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週		46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	97	82	59	55	3806	302	24128
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ					6		45
	細菌性赤痢	1	1	1	1	58	3	275
	腸管出血性大腸菌感染症	9	5	6	4	386	54	4090
	腸チフス		1			12		51
	パラチフス					5		25
四類	E型肝炎	1				7	1	40
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1		27	1	156
	エキノкокクス症							15
	黄熱							
	オウム病						1	8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病				4	9	33	212
	デング熱		3		2	30	1	94
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						3	106
	日本脳炎							3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア				1	22		49
野兔病							4	
ライム病							4	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	3		2	2	73	12	789	
レプトスピラ症			1		4	2	35	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	7	3	2	6	171	18	747
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		3		1	29	1	209
	急性脳炎***	1			1	10	1	163
	クリプトスポリジウム症					4	1	9
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		13	1	134
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					19	1	103
	後天性免疫不全症候群	16	16	14	10	485	12	1355
	ジアルジア症					19		68
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	3	3	2	6	174	6	720
	破傷風					5	4	112
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	1		13		75
	風しん	1			1	42	1	286
	麻しん	4	2	3	1	1164	15	10921
2008/11/19集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 55件 肺結核38件、その他17件で、推定感染地は国内53件、国内/中国1件、国内/アラブ首長国連邦1件。年齢は5歳未満1件、20歳代8件、30歳代7件、40歳代6件、50歳代9件、60歳代7件、70歳代8件、80歳代8件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 ソンネで、推定感染地はタイ、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 4件 有症状者4件で、血清型・毒素型はO157(VT1VT2) 1件、O157(VT2) 1件、O111(VT1VT2) 1件、O103(VT1) 1件であった。年齢は10歳代1件、20歳代1件、30歳代1件、70歳代1件であった。O111(VT1VT2)の1件は、大田区内の保育園におけるO111(VT1VT2)集団発生に関連して第42週に報告された症例の同居家族であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 4件 推定感染地は多摩地域2件、島しょ地域2件であった。1件は農作業中の感染、1件は自宅付近での感染が疑われている。他2件の感染した状況等は不明。
デング熱 2件 推定感染地はフィリピン1件、インド1件で、血清型はいずれも未確認。
マラリア 1件 四日熱マラリアで、推定感染地はカメルーンであった。
レジオネラ症 2件 肺炎型2件で、患者はともに50歳代男性。推定感染地は神奈川県/三重県、都内/長野県であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 腸管アメーバ症4件、腸管外アメーバ症2件で、推定感染地は国内4件、東南アジア(国名不明)1件、国内/タイ/スペイン/米国1件、推定感染経路は飲食物による経口感染3件、性的接触2件(異性間1件、同性間1件)、不明1件であった。
ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触であった。
急性脳炎 1件 病原体は確認中。1歳1ヶ月の症例であった。
後天性免疫不全症候群 10件 無症候キャリア6件、AIDS 2件、その他2件で、推定感染地は国内9件、グアム/サイパン/韓国 1件、推定感染経路は性的接触10件(同性間8件、異性間1件、両性間1件)であった。
梅毒 6件 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候梅毒3件で、推定感染地は国内6件、推定感染経路は性的接触4件(異性間3件、性別不明1件)、不明2件であった。
風しん 1件 臨床診断例の10歳未満女性。風しん含有ワクチン接種歴は1回であった。
麻しん 1件 麻しん(検査診断例)の40歳代。麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年46週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		43週	44週	45週	46週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	113	156	114	106	0.72	148	150
	咽頭結膜熱	28	27	33	32	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	232	234	185	284	1.92		
	感染性胃腸炎	605	678	730	1,209	8.17		
	水痘	84	111	120	204	1.38		
	手足口病	166	129	98	80	0.54		
	伝染性紅斑	27	26	15	17	0.11		
	突発性発しん	111	102	83	107	0.72		
	百日咳	6	4	1	5	0.03		
	ヘルパンギーナ	27	14	20	15	0.10		
	流行性耳下腺炎	84	70	102	81	0.55		
	不明発しん症 (注1)	19	28	11	5	0.03		
	MCLS(川崎病) (注1)	1	0	3	2	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	9	11	30	77	0.27	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	1	0	0	0.00	38	39
	流行性角結膜炎	20	12	13	11	0.29		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	0	3	0.13	24	24
	無菌性髄膜炎	1	0	0	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	13	8	16	9	0.38		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	3	2	0	0	0.00		
2008/11/19集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病) は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は微減したが、過去の同時期よりも依然多く、引き続き注意が必要である。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。過去の傾向を見るとさらに急激に増加する可能性が高く、注意が必要である。
- ・水痘の定点当たり報告数は増加した。過去の同時期より高いレベルになっており、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

世田谷保健所管内定点医療機関

- ・保育園で、十数人の嘔吐下痢症状。

池袋保健所管内定点医療機関

- ・今のところ当院ではflu(+)は認められません。

足立保健所管内定点医療機関

- ・7歳女児:マイコプラズマ肺炎。

大田区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザA型2名。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザはA型3人でした。・A型インフルエンザでした(1名)。

品川区保健所管内定点医療機関

- ・A型インフルエンザでした(1名)。

多摩府中保健所管内定点医療機関

- ・全て小学校の児童(4年生・1年生を中心として)で全てB型インフルエンザです。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎が増えてきました。

多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザは全例A型(2名)。・インフルエンザは全例A型(3名)。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	22			14	3	1	1	6		
～11か月	18	1		87	12	5	2	46	1	3
1歳	31	4	4	174	39	17	2	47		3
2歳	18	8	7	145	40	9	1	8		3
3歳	8	4	27	131	30	15				
4歳	4	6	40	112	26	14	2			2
5歳	2	3	43	97	21	6	2			1
6歳		3	35	88	18	4	1			1
7歳		2	44	49	4	2	2			
8歳			25	38	3	2				1
9歳			16	30	3		1		1	
10～14歳		1	22	76	4	4	2			
15～19歳				22						1
20～29歳	3		21	146	1	1	1		3	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	106	32	284	1209	204	80	17	107	5	15
先週比	-8	-1	99	479	84	-18	2	24	4	-5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				1		
～11か月		1				
1歳	4	1		3		
2歳	13		1	8		
3歳	16	2		5		
4歳	16			6		
5歳	10	1	1	3		
6歳	6			5		
7歳	6			6		
8歳	3			7		
9歳	2			11		
10～14歳	3			7		
15～19歳	1					1
20～29歳	1			4		1
30～39歳				5		5
40～49歳				1		1
50～59歳						1
60～69歳				1		1
70～79歳				2		1
80歳以上				2		
合計	81	5	2	77		11
先週比	-21	-6	-1	47		-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年46週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳	1	
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	2			5					1	
中央区			2	9	1	1	1	3		1
みなと	6	6	9	20	60	1		6		2
新宿区	5	1	9	31	1	3		2		
文京	1	3	3	7			1			
台東	3		7	20	2	1		5		
墨田区	1		4	15	5	2		2		
江東区	2	1	9	44	4	3	1	8		1
品川区	2		6	58	2	1		7		1
目黒区			1	9	2	2		1		
大田区	3	3	10	51	2	7	5	9	1	
世田谷	4	1	9	72	9	2		2		1
渋谷区			1	17	17	1		5		
中野区	1		4	79	2	2		1		
杉並	3		5	85	3	2		4	1	
池袋			2	17	2	1		3		
北区		1	4	34	2	2		4		
荒川区	9		6	26	1			2		
板橋区			2	21	3	1		3	1	
練馬区			5	39	6		1	3		3
足立			4	55	8	6	2	1		1
葛飾区			3	13	3	2		1		
江戸川	3	9	38	39	4	4	1	3		
八王子市	8	4	50	78	20	6	1	6		
西多摩	4	1	4	44	8	1		4		
南多摩	12		26	30	11	5	2	1		1
町田	2	2	31	117	14	16		9		2
多摩立川	1		8	43	1					
多摩府中			5	38	3	3	1	3		1
多摩小平	34		17	93	5	4	1	9	1	1
島しょ					3	1				
東京都合計	106	32	284	1,209	204	80	17	107	5	15

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年46週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				4		
中央区						
みなと	2					
新宿区						1
文京	1					1
台東	7		1			
墨田区	2			1		
江東区	8			2		
品川区	3			1		
目黒区						
大田区	8	1	1	2		
世田谷	5			5		
渋谷区	2					
中野区				4		1
杉並	4			1		
池袋	2			1		
北区	1	1				
荒川区	4	1		1		1
板橋区	2					1
練馬区	2			5		
足立	9			6		
葛飾区	3			2		1
江戸川	3			1		1
八王子市	5	1				
西多摩						
南多摩						
町田	4	1		8		
多摩立川						
多摩府中	1			16		
多摩小平	3			17		4
島しょ						

東京都合計	81	5	2	77	-	11
-------	----	---	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		1
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市	1	
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	1
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年46週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	0.67			1.67					0.33	
中央区			0.67	3.00	0.33	0.33	0.33	1.00		0.33
みなと	1.00	1.00	1.50	3.33	10.00	0.17		1.00		0.33
新宿区	0.83	0.17	1.50	5.17	0.17	0.50		0.33		
文京	0.33	1.00	1.00	2.33			0.33			
台東	1.00		2.33	6.67	0.67	0.33		1.67		
墨田区	0.33		1.33	5.00	1.67	0.67		0.67		
江東区	0.50	0.25	2.25	11.00	1.00	0.75	0.25	2.00		0.25
品川区	0.33		1.00	9.67	0.33	0.17		1.17		0.17
目黒区			0.33	3.00	0.67	0.67		0.33		
大田区	0.33	0.33	1.11	5.67	0.22	0.78	0.56	1.00	0.11	
世田谷	0.50	0.13	1.13	9.00	1.13	0.25		0.25		0.13
渋谷区			0.25	4.25	4.25	0.25		1.25		
中野区	0.17		0.67	13.17	0.33	0.33		0.17		
杉並	0.50		0.83	14.17	0.50	0.33		0.67	0.17	
池袋			0.50	4.25	0.50	0.25		0.75		
北区		0.25	1.00	8.50	0.50	0.50		1.00		
荒川区	4.50		3.00	13.00	0.50			1.00		
板橋区			0.33	3.50	0.50	0.17		0.50	0.17	
練馬区			1.00	7.80	1.20		0.20	0.60		0.60
足立			0.80	11.00	1.60	1.20	0.40	0.20		0.20
葛飾区			0.75	3.25	0.75	0.50		0.25		
江戸川	0.60	1.80	7.60	7.80	0.80	0.80	0.20	0.60		
八王子市	2.00	1.00	12.50	19.50	5.00	1.50	0.25	1.50		
西多摩										
南多摩	3.00		6.50	7.50	2.75	1.25	0.50	0.25		0.25
町田	0.50	0.50	7.75	29.25	3.50	4.00		2.25		0.50
多摩立川	0.17		1.33	7.17	0.17					
多摩府中			0.50	3.80	0.30	0.30	0.10	0.30		0.10
多摩小平	5.67		2.83	15.50	0.83	0.67	0.17	1.50	0.17	0.17
島しょ					3.00	1.00				

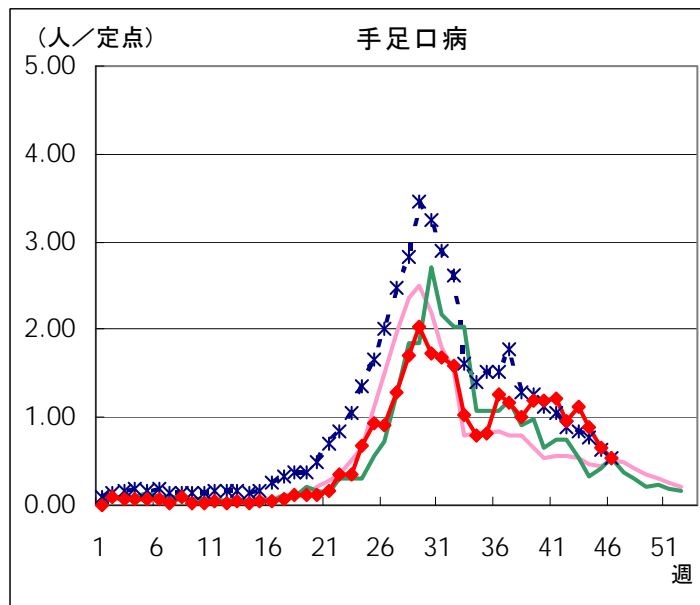
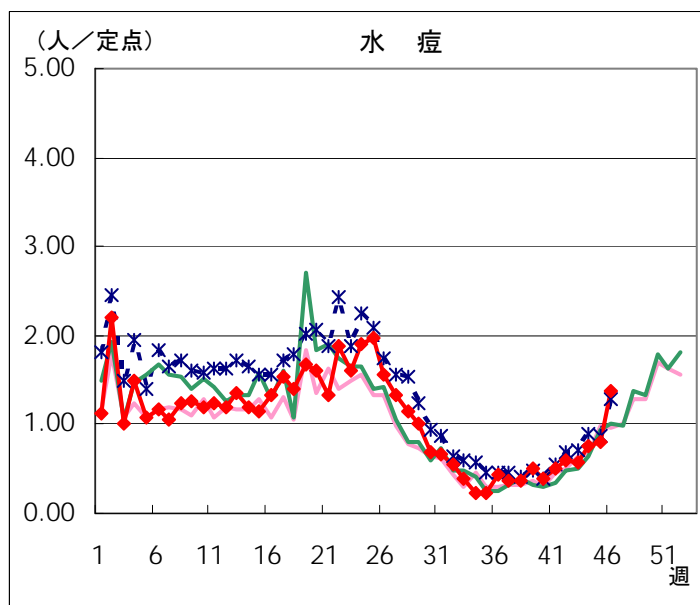
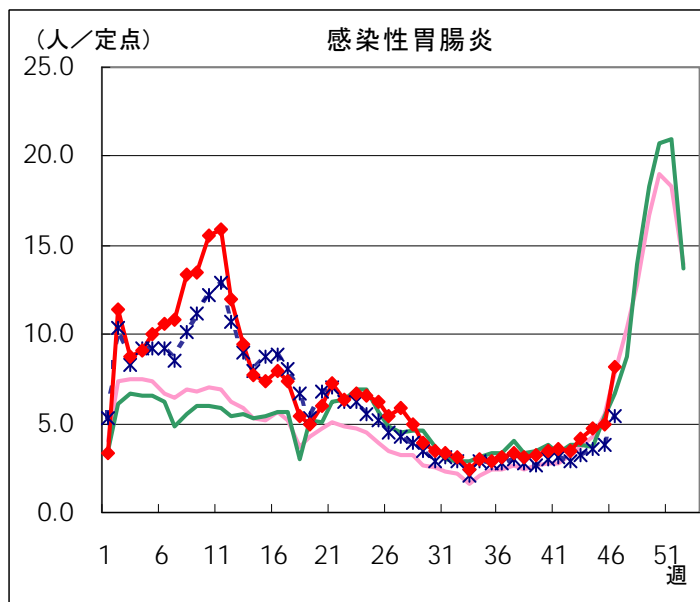
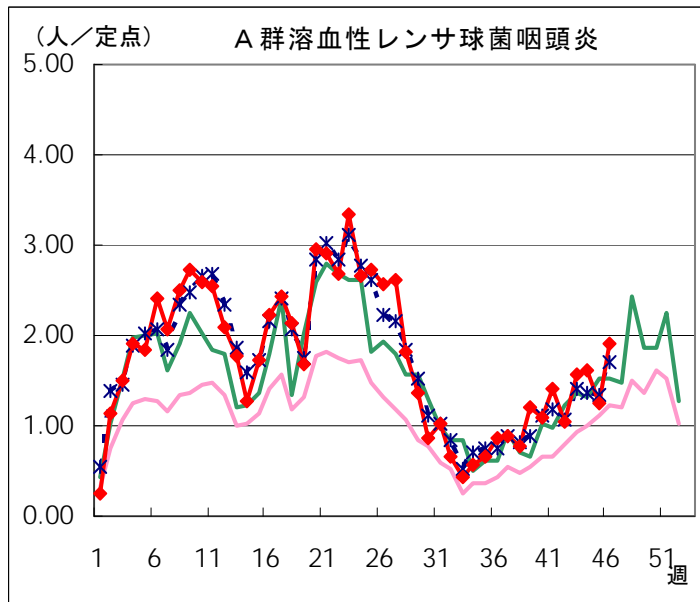
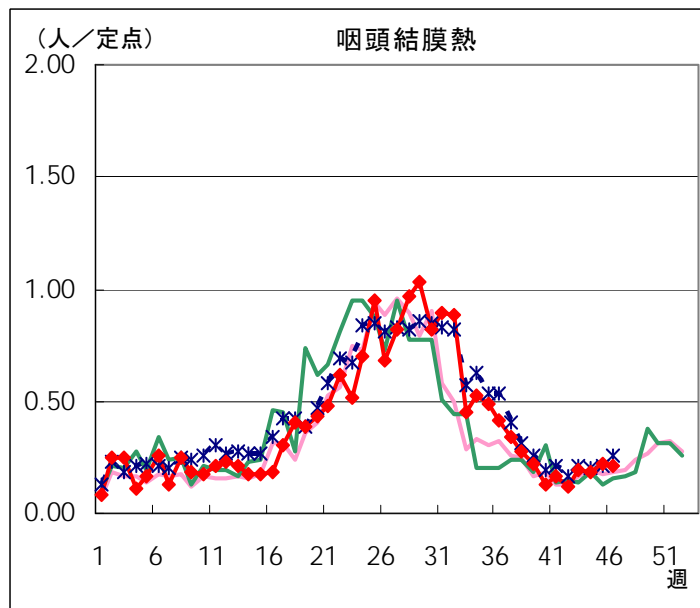
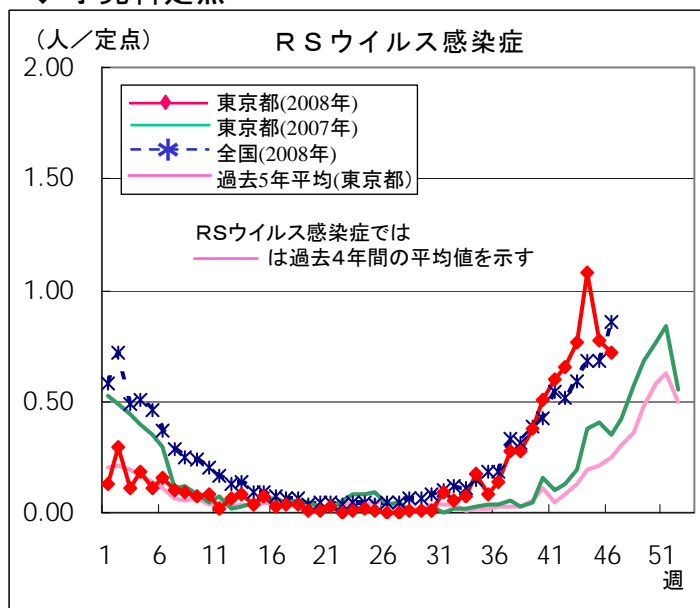
東京都	0.72	0.22	1.92	8.17	1.38	0.54	0.11	0.72	0.03	0.10
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

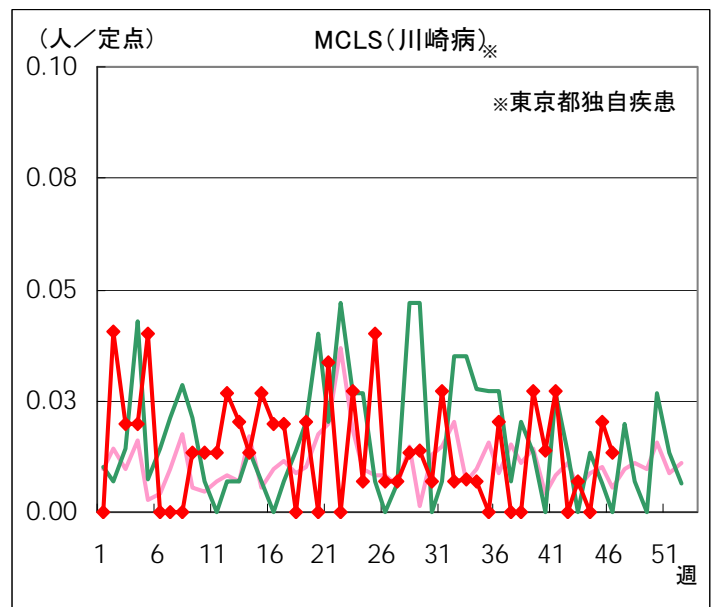
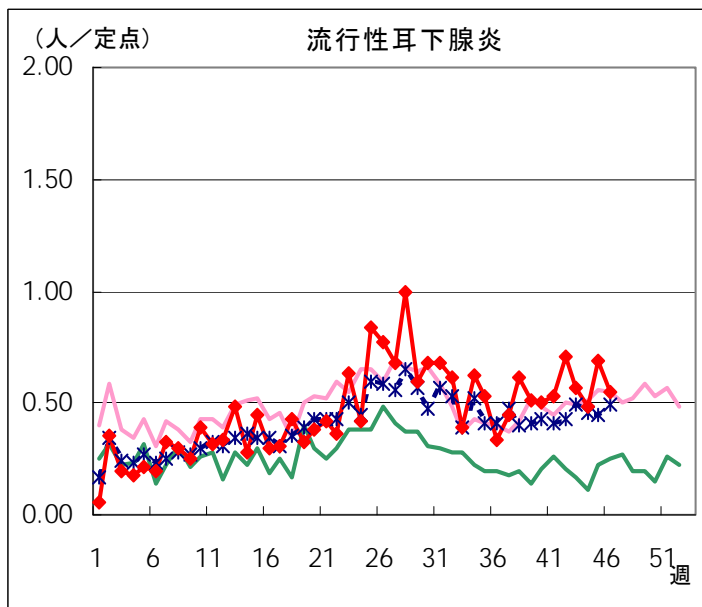
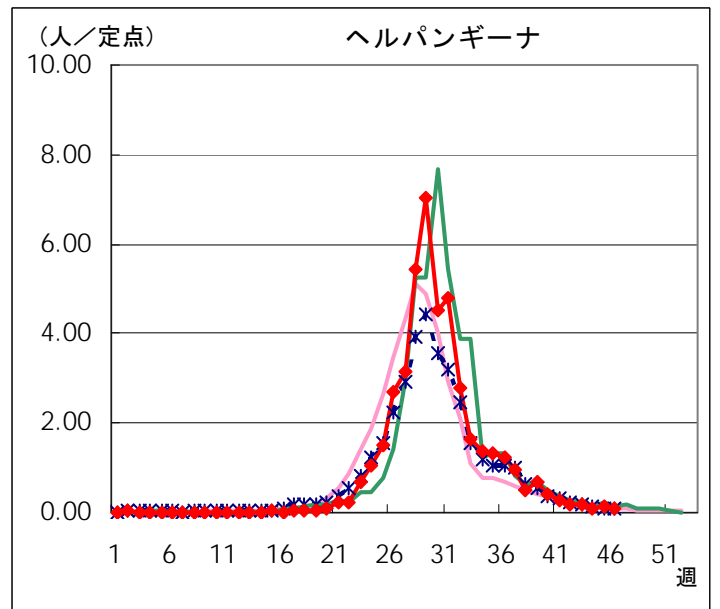
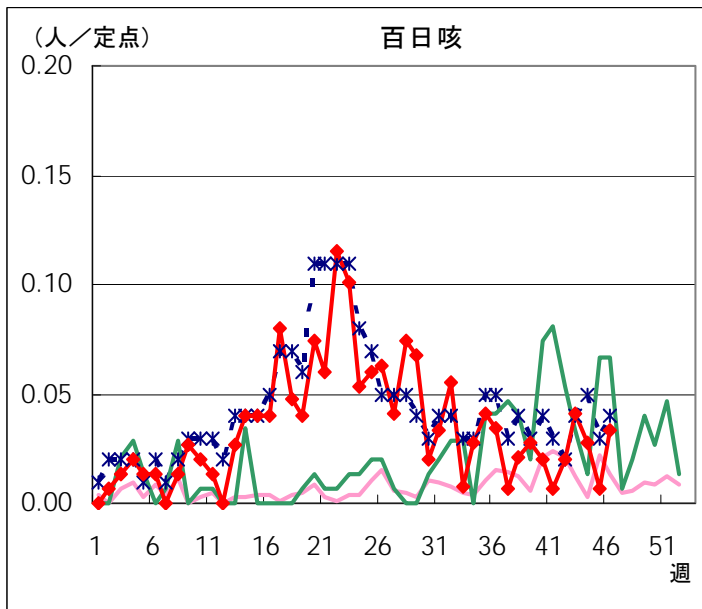
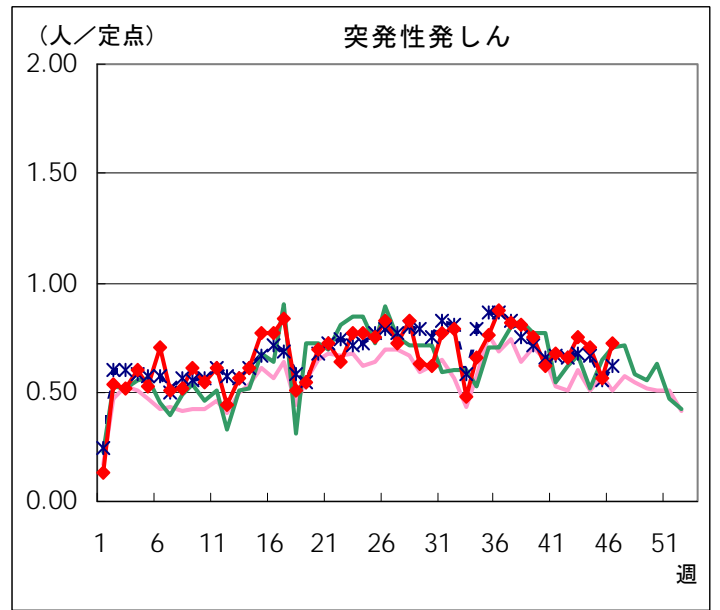
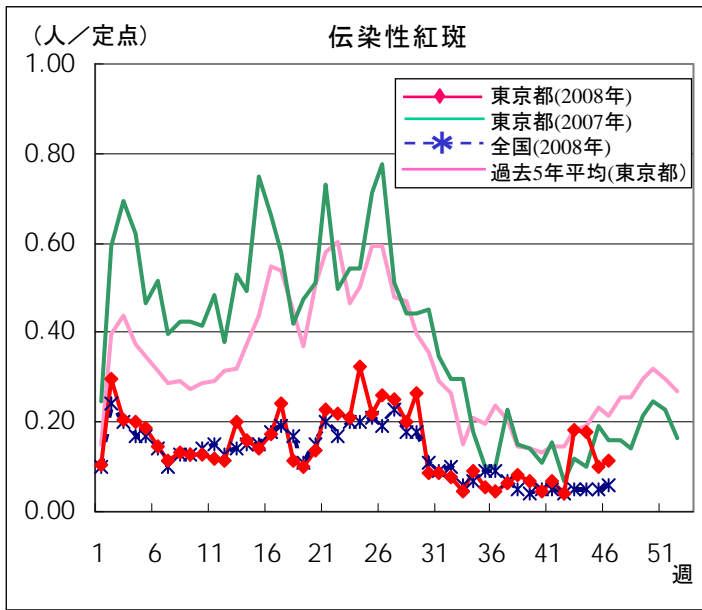
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				1.00		
中央区						
みなと	0.33					
新宿区						0.50
文京	0.33					1.00
台東	2.33		0.33			
墨田区	0.67			0.17		
江東区	2.00			0.22		
品川区	0.50			0.10		
目黒区						
大田区	0.89	0.11	0.11	0.13		
世田谷	0.63			0.33		
渋谷区	0.50					
中野区				0.44		1.00
杉並	0.67			0.08		
池袋	0.50			0.14		
北区	0.25	0.25				
荒川区	2.00	0.50		0.25		1.00
板橋区	0.33					0.50
練馬区	0.40			0.42		
足立	1.80			0.50		
葛飾区	0.75			0.22		1.00
江戸川	0.60			0.08		0.50
八王子市	1.25	0.25				
西多摩						
南多摩						
町田	1.00	0.25		0.89		
多摩立川						
多摩府中	0.10			0.76		
多摩小平	0.50			1.21		2.00
島しょ						

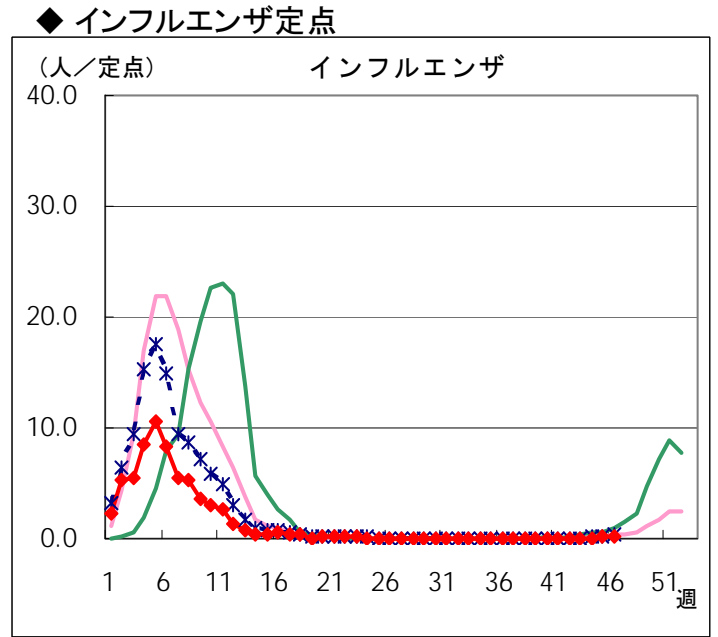
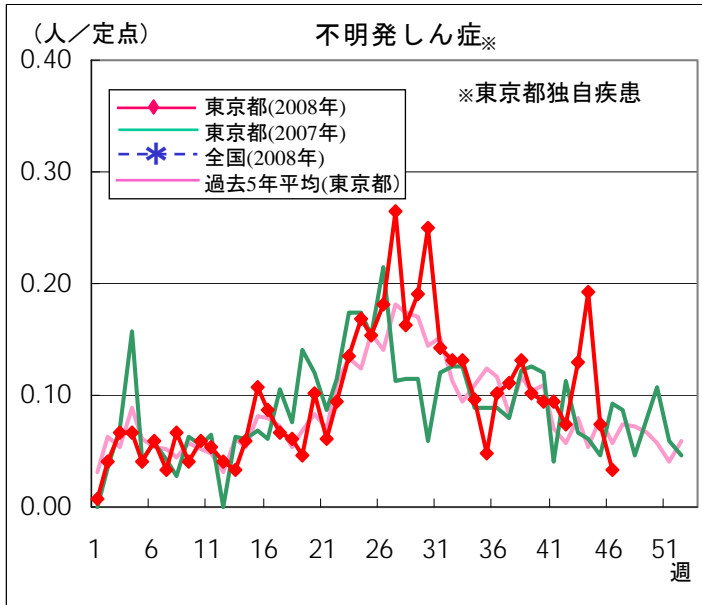
東京都	0.55	0.03	0.01	0.27	-	0.29
-----	------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年46週現在

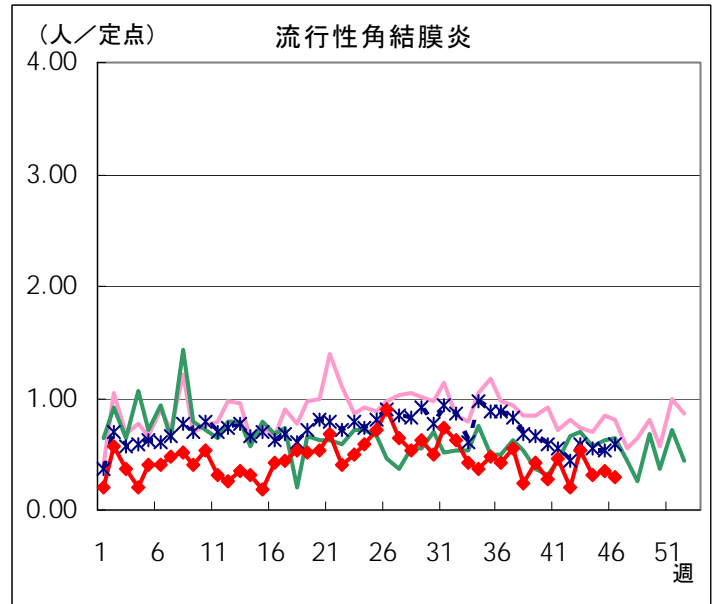
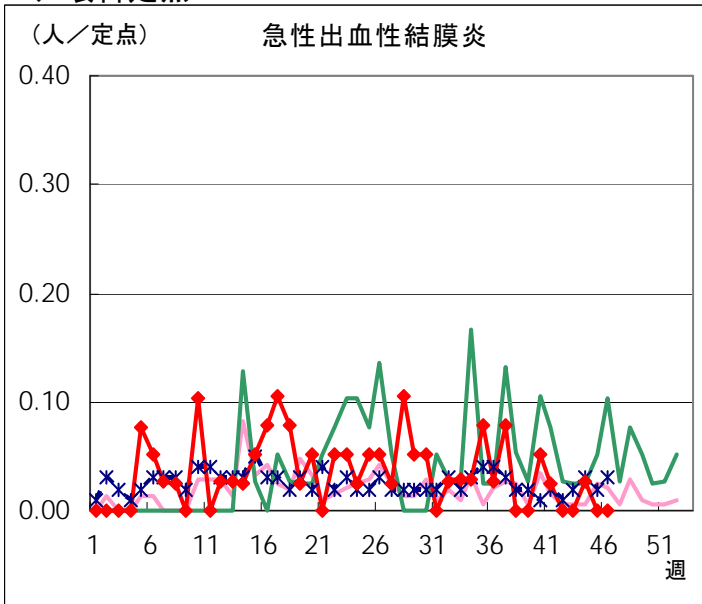
◆ 小児科定点



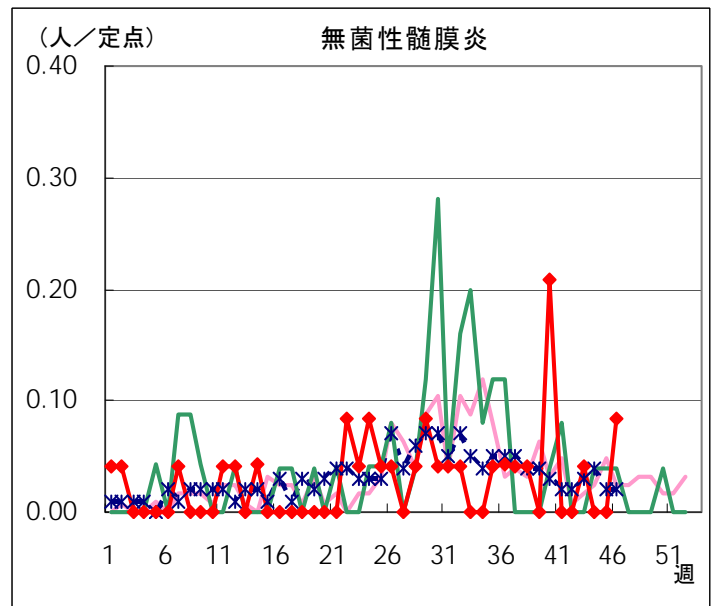
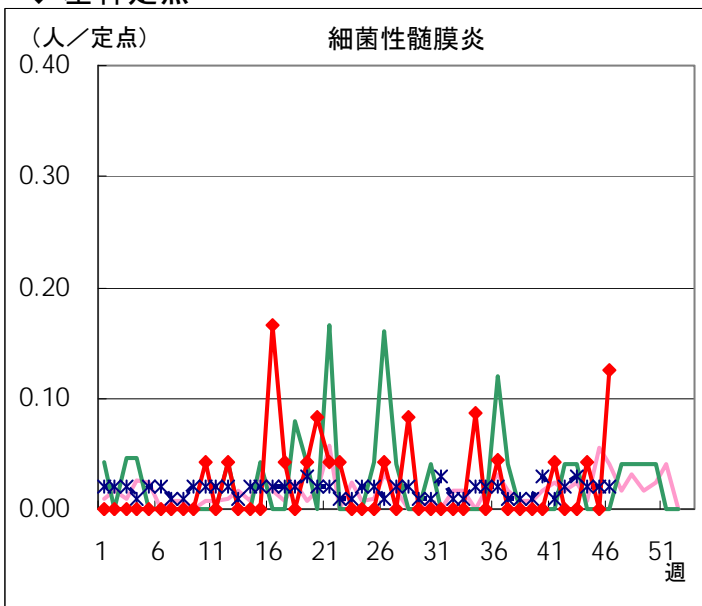


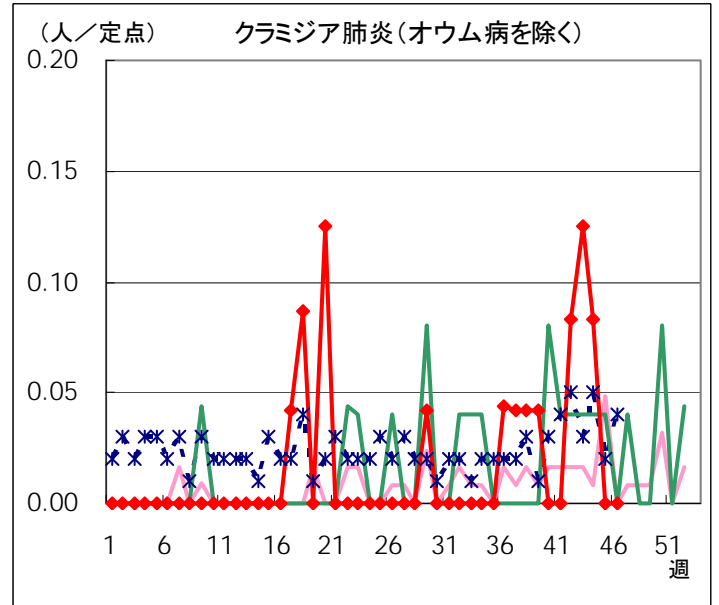
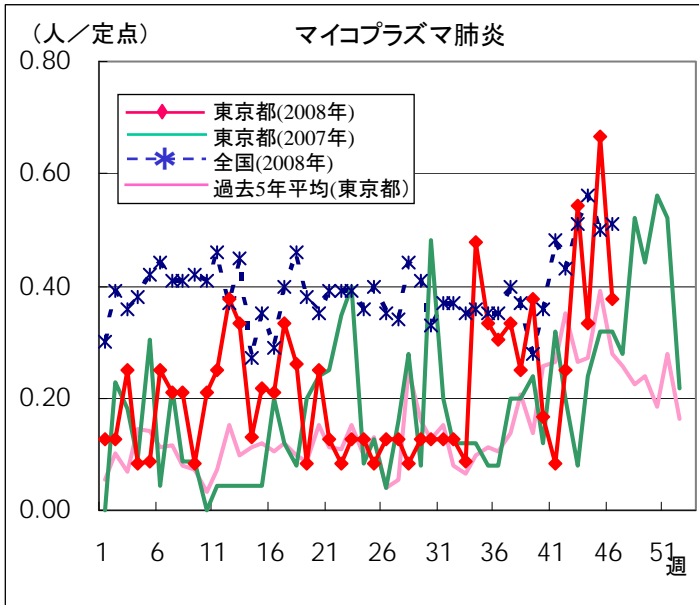


◆ 眼科定点

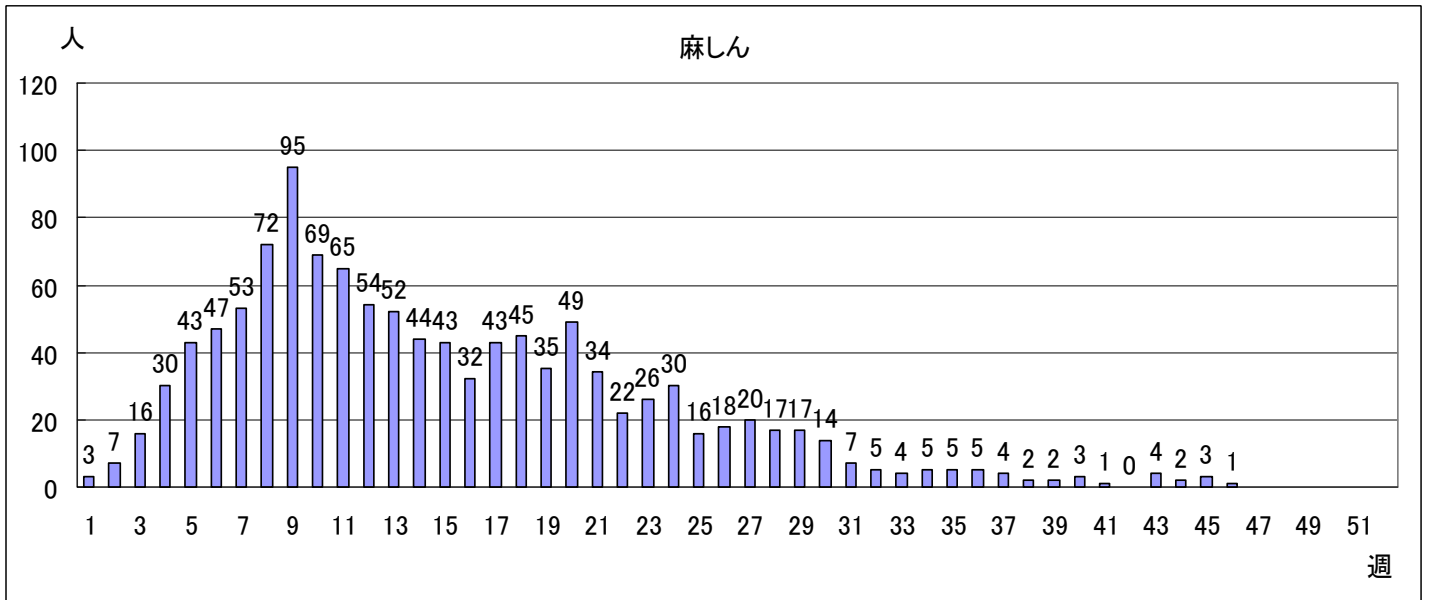


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年46週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/15	溶連菌感染症	7	咽頭(菌株)	A群レンサ球菌4型	血清型
10/17	溶連菌感染症	4	咽頭(菌株)	A群レンサ球菌25型	
10/28	インフルエンザ	16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	遺伝子
10/30	無菌性髄膜炎	3	髄液	ムンプスウイルス	
10/30	RSウイルス感染症	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
10/31	ブドウ球菌性熱症様皮膚症候群(SSSS)	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/31	急性細気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス	
10/31	百日咳疑い	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス	
11/3	感染性胃腸炎	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
			糞便		
11/3	意識障害、水痘症	2	糞便	ムンプスウイルス	
			咽頭拭い液	ムンプスウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	
			尿	ムンプスウイルス	
			血液	ヒトヘルペスウイルス7型	
11/3	中耳炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
11/4	流行性角結膜炎	32	結膜拭い液	アデノウイルス	
11/4	喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/4	急性咽頭炎、気管支炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス	
11/4	急性細気管支炎	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス RSウイルス	
11/4	熱性けいれん、咽頭炎	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/5	不明発しん症	6	咽頭拭い液	ライノウイルス EBウイルス	遺伝子
11/5	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/5	先天感染症	記載無し	血液	単純ヘルペスウイルス2型	
11/6	けいれん重積	10M	髄液	ヒトヘルペスウイルス6型	
11/6	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/6	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス RSウイルス	
11/6	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス RSウイルス	
11/6	頸部リンパ節炎、不明熱	7	咽頭拭い液	アデノウイルス EBウイルス	
11/6	気管支炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/7	急性細気管支炎	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス RSウイルス	
11/7	急性細気管支炎	4M	咽頭拭い液	RSウイルス	

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
記載無し	バンコマイシン耐性腸球菌 感染症	32	創傷(菌株)	腸球菌(<i>Enterococcus faecium</i>) <i>van A</i>	遺伝子

**44週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
ウイルス	アデノウイルス	8	4	3	18	6	14	18	5
	ライノウイルス	4		2	8	2	6	4	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス						1		
	エンテロウイルス71						4		
	その他のエンテロウイルス	15	11	11	16	8	14	5	8
	単純ヘルペスウイルス			1	1			1	1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	7	6	9		12	3	4
	EBウイルス	5	3	2	1		3		2
	サイトメガロウイルス	1	3	1	3		4	1	
	ムンプスウイルス		2	2		3	2	1	4
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	6		2	9	7	7	10	10
	ノロウイルス	1					2	1	
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB	2				2			1
デングウイルス									
その他のウイルス	1		1	1	1				
細菌	カンピロバクター				2				
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌							1	1
	溶血性レンサ球菌	2	1	1	1				2
	その他の細菌	2	4				1	1	
その他の病原体								3	

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年38週～45週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	9	56	86	37	58	1	6	4	2	9		32	14	4			172	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		21	20	4	3	1	2		3		3	5				14	
	ライノウイルス		7	15		2						3					5	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	1
	エンテロウイルス71			1	1	2												
	その他のエンテロウイルス		9	18	4	6	7		1	9		10						24
	単純ヘルペスウイルス					1												3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		2	1					1			14		2				24
	EBウイルス		2	1								1	4					8
	サイトメガロウイルス		1							1		5	1					5
	ムンプスウイルス					3								7	3			1
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス		7	43														1
	ノロウイルス				4													
	ロタウイルス																	
	インフルエンザウイルスAH1																	
	インフルエンザウイルスAH3																	
インフルエンザウイルスB	5																	
デングウイルス																		
その他のウイルス			4															
細 菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																2	
	溶血性レンサ球菌						6										1	
その他の細菌		4	2				1										1	
その他の病原体		1	2															

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2008年10月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	100	1.92	52	55
		女	116	2.23		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	56	1.08		
		女	25	0.48		
	尖圭コンジローマ	男	49	0.94		
		女	25	0.48		
	淋菌感染症	男	79	1.52		
		女	16	0.31		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	12	0.23		
梅毒様疾患	男	6	0.12			
	女	2	0.04			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	72	3.13	23	24
		女	47	2.04		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	29	1.26		
		女	20	0.87		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	0	0.00		
2008/11/10計						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2008年10月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1			1		
20～24歳	15	3	5	12		
25～29歳	22	9	10	26		
30～34歳	21	7	13	15		3
35～39歳	14	8	7	5		
40～44歳	11	8	7	9		1
45～49歳	8	6	3	5		
50～54歳	5	6	3	2		
55～59歳	1	4	1	3		2
60～64歳	2	3		1		
65～69歳		2				
70歳～						
合計	100	56	49	79	0	6
先月数	97	46	54	74	0	1
増減数	3	10	-5	5	0	5

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	8	1	4	2	2	
20～24歳	36	7	4	4	1	1
25～29歳	34	5	7	3	2	
30～34歳	17	7	7	2	2	
35～39歳	12	2	2	1		
40～44歳	5	1		2	2	
45～49歳	2	1		1	1	1
50～54歳			1		1	
55～59歳	2	1		1		
60～64歳					1	
65～69歳						
70歳～						
合計	116	25	25	16	12	2
先月数	134	28	37	11	16	3
増減数	-18	-3	-12	5	-4	-1

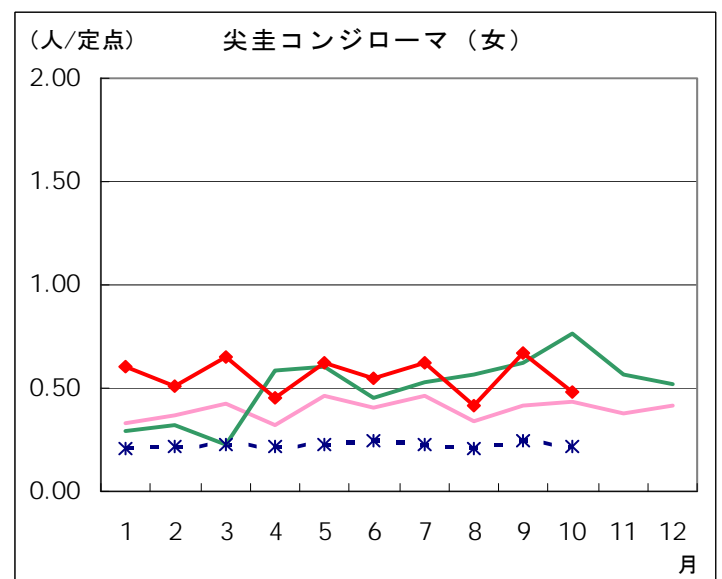
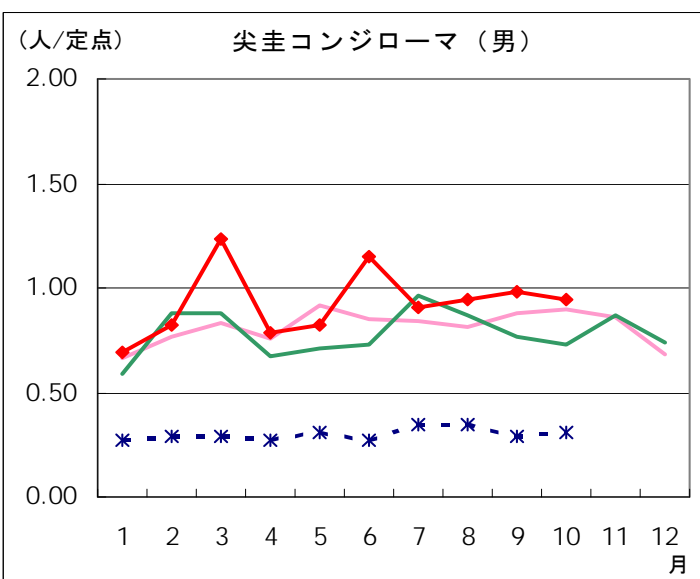
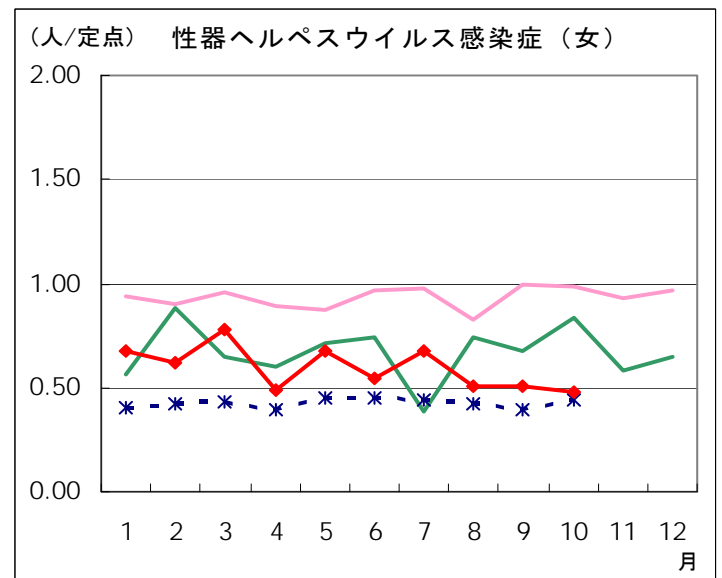
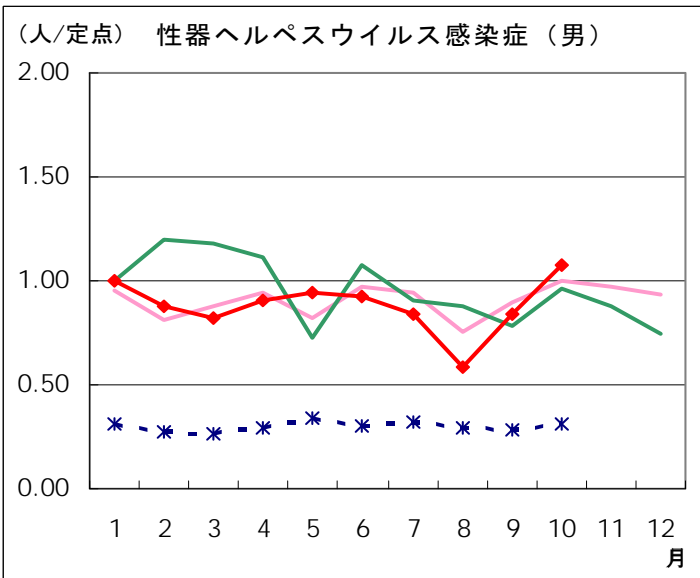
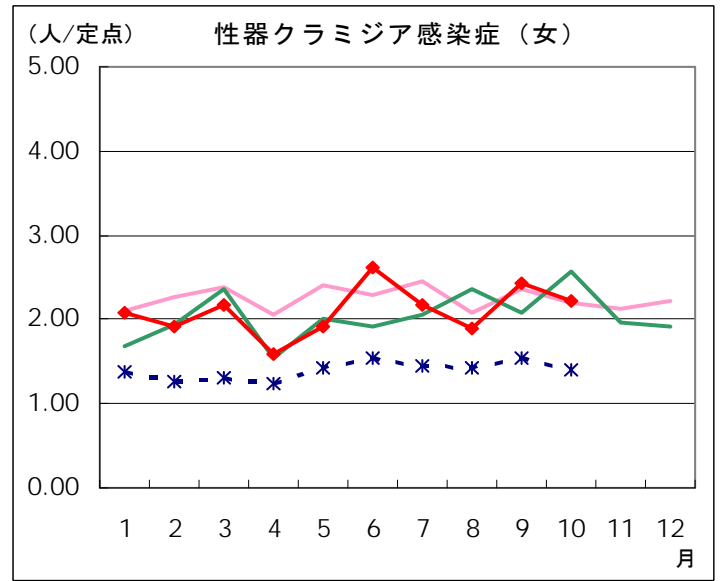
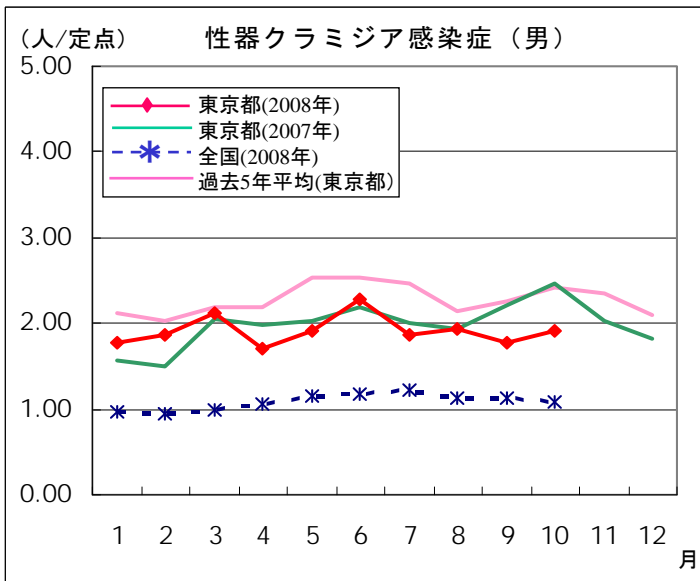
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2008年10月

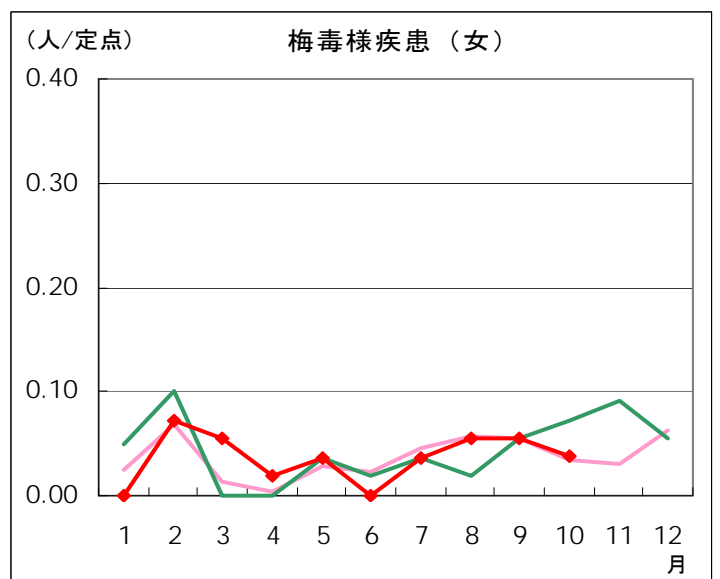
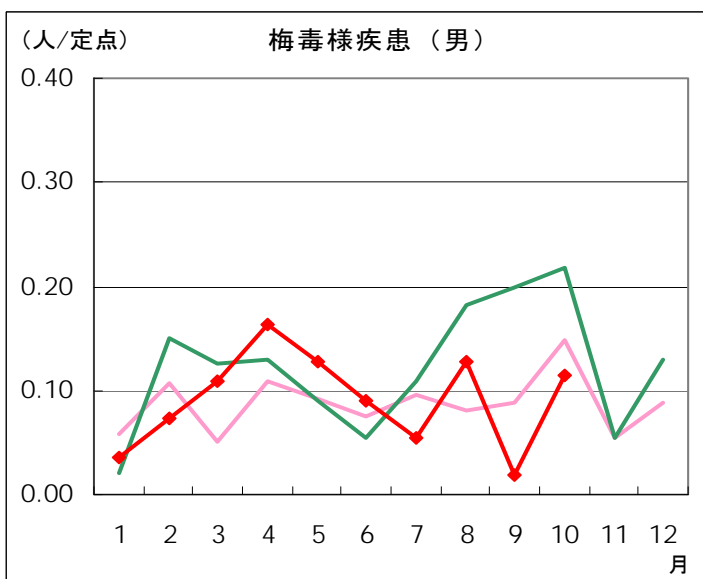
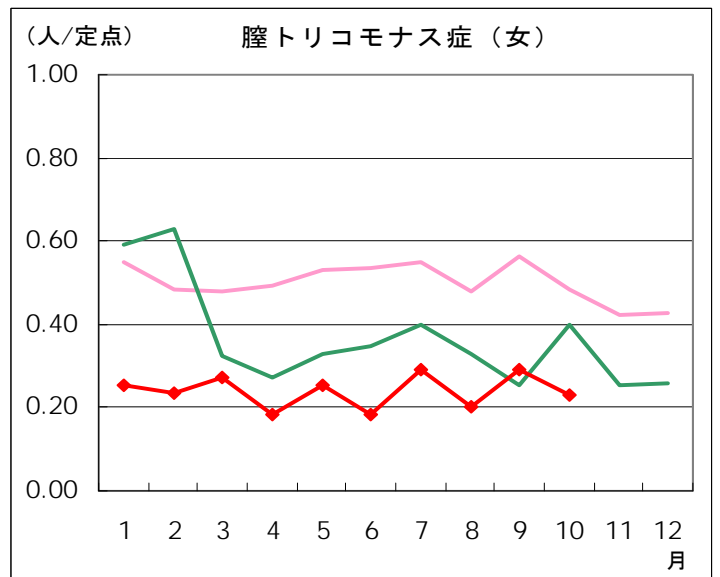
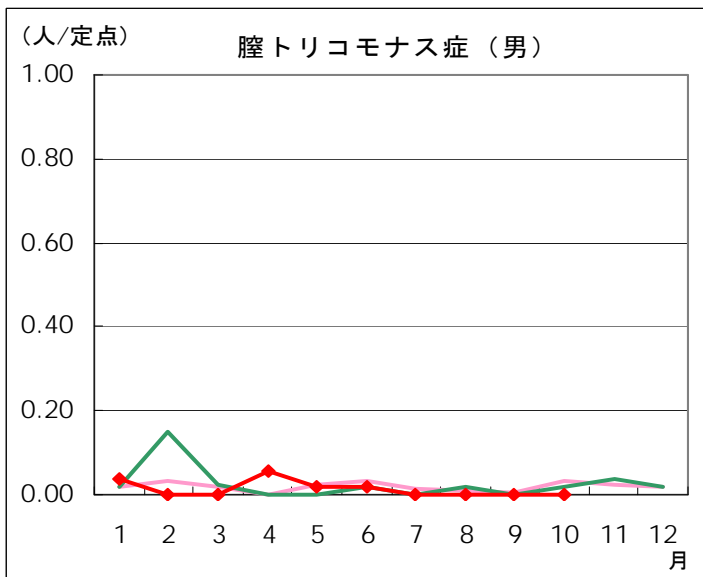
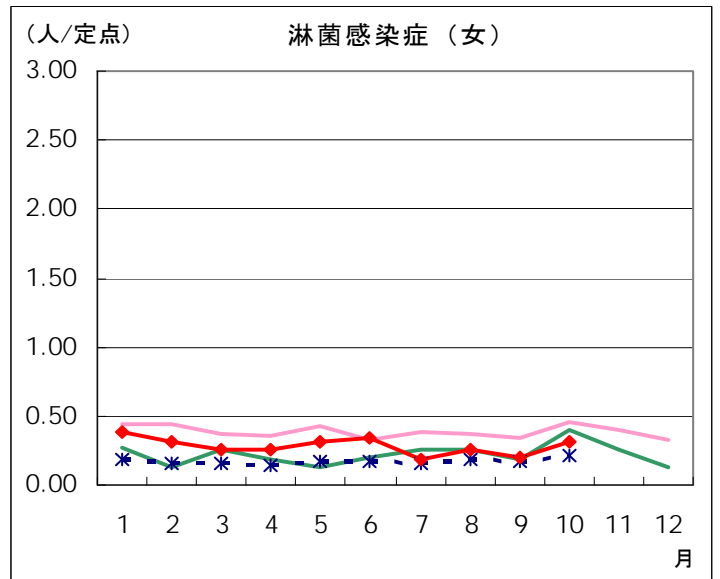
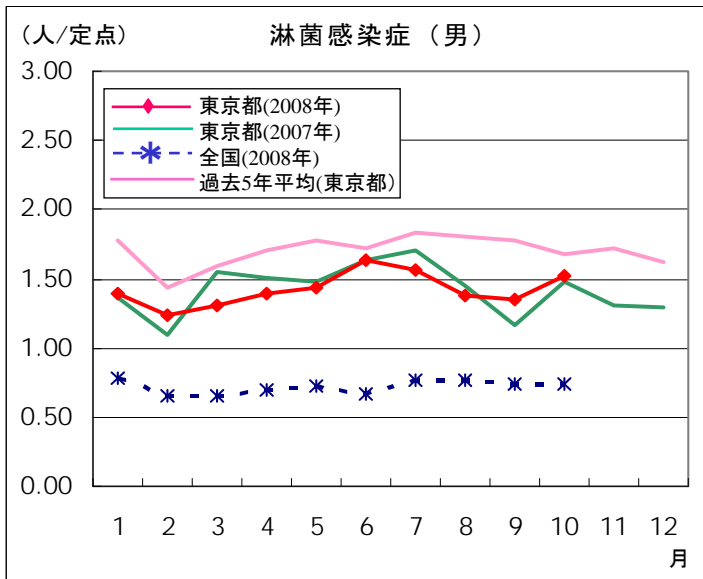
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	7	7	5	14		1
中央区	3	6	2		3		
みなと	2	5	1	1	2		
新宿区	6	21	17	25	22		4
文京	1	5	1	3	1		
台東	3						
墨田区	2	2					
江東区	2	15	13	3	11		
品川区	1	2			3		
大田区	2	2			1		
渋谷区	4	7	3	1	2		
中野区	2	6	3		2		
杉並	2	1			3		
池袋	3	15	5	8	9		1
北区	1	1		1			
荒川区	1						
板橋区	2		1	1	3		
足立	2	1	2	1	2		
江戸川	1	2	1				
八王子市	4	1					
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1			1		
多摩小平							
合 計	52	100	56	49	79		6
定点当たり		1.92	1.08	0.94	1.52		0.12

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	3			1		
中央区	3	8					
みなと	2	7	1	6		1	1
新宿区	6	5	5		5		
文京	1						
台東	3	16	3	1	2	3	
墨田区	2		1		1		
江東区	2			1		1	
品川区	1						
大田区	2	3		2			
渋谷区	4	6	7	4			
中野区	2	2		1	2	1	1
杉並	2	1				1	
池袋	3	17	1	7	1	2	
北区	1						
荒川区	1	1	2			1	
板橋区	2	6	1		1	1	
足立	2						
江戸川	1						
八王子市	4	14	3	1	1	1	
町田	1	5					
多摩立川	2	22	1	2	2		
多摩府中	3						
多摩小平							
合 計	52	116	25	25	16	12	2
定点当たり		2.23	0.48	0.48	0.31	0.23	0.04

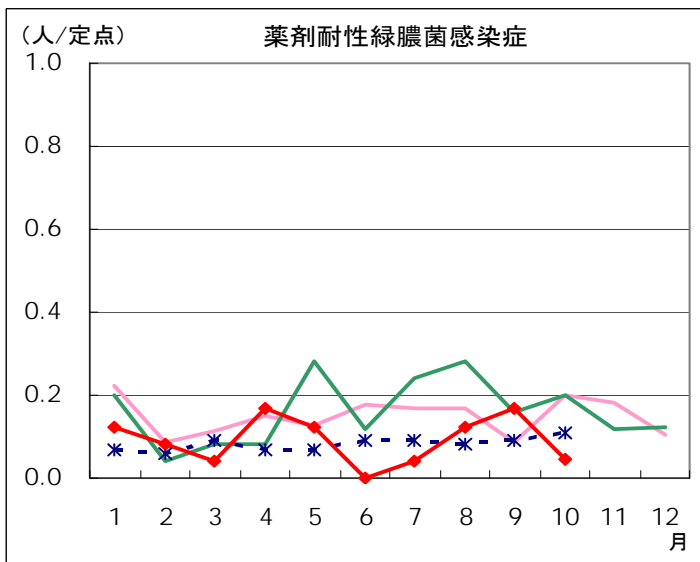
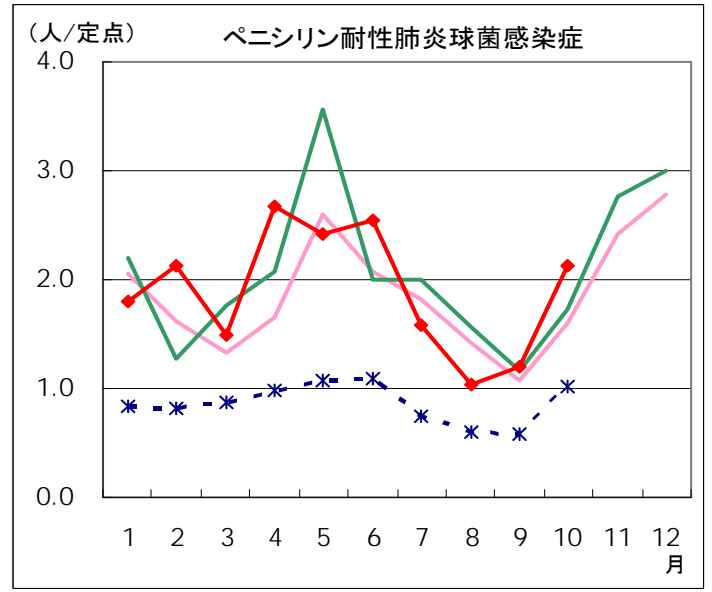
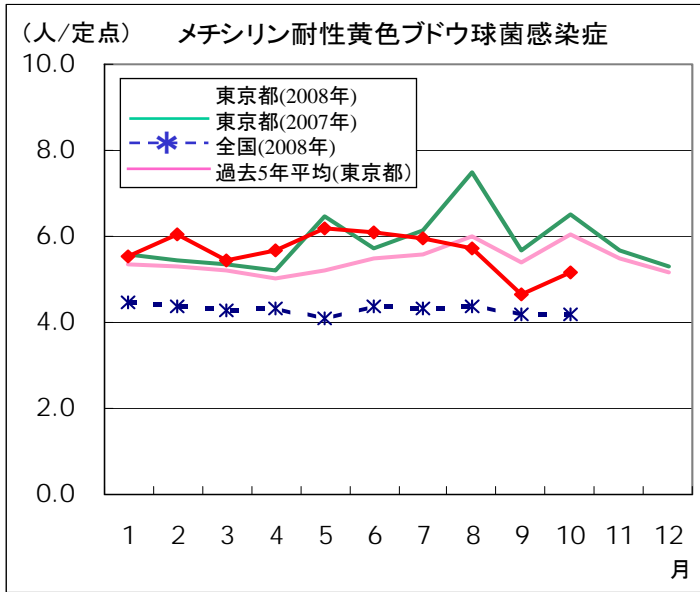
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2008年10月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
10/2	陰茎ヘルペス	27	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
10/2	尿道炎	29	男	尿	クラミジア	
10/2	尿道炎	37	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
10/6	尿道炎	29	男	尿	淋菌	遺伝子
10/7	陰茎ヘルペス	48	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
10/7	尖圭コンジローマ	28	男	コンジローマ部位	ヒトパピローマウイルス11型	
10/8	陰茎ヘルペス	40	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子 分離同定
10/8	尿道炎	26	男	尿	淋菌	
10/9	陰茎ヘルペス	49	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
10/9	淋菌性尿道炎	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
10/14	尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	遺伝子
10/14	淋菌性尿道炎	26	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
10/16	陰茎ヘルペス	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
10/16	尿道炎	33	男	尿	クラミジア	
10/20	尿道炎	43	男	尿	クラミジア	
10/21	淋菌性尿道炎	26	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
10/21	尿道炎	44	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
10/24	性器ヘルペス疑い	27	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子
10/24	性器ヘルペス疑い	27	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	<i>Candida albicans</i>	分離同定
10/28	尿道炎	27	男	尿	淋菌	遺伝子